

## 令和3年度 家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	新家庭基礎 主体的に人生をつくる (大修館書店)						
副教材等	ニュービジュアル家庭科 2021 資料+成分表						

## 1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

○家庭生活に関心をもち、積極的に取り組みましょう

- ・生活の様々な現象や課題について演習等を通して考え、理解を深め知識を身に付けます。友だちの考えを知り、多様な考え方を学び、自分の考えをもちましょう。
- ・実践的・体験的な学習を通して、生活に必要な確かな技術を身に付けます。
- ・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。

## 2 学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣生活、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

## 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣生活、消費生活などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣生活、消費生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見だし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣生活、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣生活、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評 価 方 法	学習状況の観察 プリントの記述 製作計画、実習記録表 レポート、発表 自己評価 等	学習状況の観察 プリントの記述 演習 製作計画、実習記録表 レポート、発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 製作品 観察記録表 レポート、発表 定期考査、実技テストの結果 自己評価等	学習状況の観察 プリントの記述 製作計画、実習記録表 演習、発表 定期考査の結果等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

#### 4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月	人の一生と青年期の課題をみつめよう	○家庭科の学び方 ・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ○人の一生と発達課題 ・自分らしさについて ・生涯発達の視点 ＊価値観オークション ○青年期の課題と自立 ＊自立に向けて ○主体的に生きるための意思決定 ・ライフコースについて ・ライフスタイルについて				○	a: 青年期の生き方について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 青年期にある自分を見つめ、課題を見だし、その解決をめざして考え、表現している。 c: 事例研究などを通して、青年期の生き方について検討する技術を身に付けている。 d: 青年期の課題について理解し、人の一生を自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート レポート 発表 定期考査
5月	家族・家庭と社会について考えよう	○現代の家族・家庭 ・家族とは何か ＊家族構成の推移の背景 ・家族間の問題 ＊DVについて考える ・家事労働と職業労働 ○家族・家庭に関する法律 ＊家族法クイズ ○家族・家庭と社会 ・男女共同参画社会 ・ワークライフバランス ＊男女の働き方と賃金格差について	○	○	○	○	a: 家族・家庭の意義や役割、男女の平等と相互の協力などについて関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 生涯発達の視点から家族・家庭と社会との関わりについての課題を見だし、その解決をめざして考え、表現している。 c: 事例研究などを通して、家族や家庭の在り方について検討する技術を身に付けている。 d: 生涯発達の視点から、家族・家庭の意義、社会との関わりなどについて理解し、人の一生を自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート レポート 発表 定期考査
6月 7月	子どもと子育てについて知ろう	＊巾着袋製作 ○子どもの誕生 ・妊娠から出産まで ＊妊婦体験をしてみよう ○子どもの成長・発達 ・体の成長・発達 ・心の成長・発達 ＊新生児人形を抱いてみよう ＊親ならどうする ○子どもの生活と保育 ・子どもと遊び ・子どもの健康・安全 ＊家の中の危険を見つける ○子育てと子どもが育つ環境 ・現代の子育てをめぐる問題 1学期末考査	○	○	○	○	a: 子どもの発達と保育について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 子どもの発達と保育について、家族や地域の生活を見つめて課題を見だし、その解決をめざして考え、表現している。 c: 子どもと適切に関わることができ子どもの健やかな発達を支える技術を身に付けている。 d: 子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート レポート 発表 実習計画 実習レポート 製作物 定期考査

8月		○ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 *自由テーマ 調査研究、個人発表	○	○	○	○	a:ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について関心を持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。 b:生活上の課題を見だし、その解決をめざして科学的に探究し、表現している。 c:計画に沿ってホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動を実践することができる。 d:ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の実践に必要な知識を身に付けている。	レポート 発表 自己評価 相互評価
9月	高齢者の生活と福祉について考えよう	○高齢期という時期 ・現代の高齢者を知る ・高齢期に生じる生活の変化と課題 ○高齢期の生活を支える高齢者福祉 ・高齢者福祉のおもな制度やサービス ・介護保険制度 ○高齢社会の現状と課題 ・人口の高齢化がもたらす課題	○	○		○	a:高齢者の生活について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:高齢者の生活について、家族や地域の生活を見つめて課題を見だし、その解決をめざして考え、表現している。 c:高齢者と適切に関わることができたり高齢者の自立生活を支える技術を身に付けている。 d:高齢者の生活について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査
10月	健康で快適な衣生活をつくらう	*エブロン製作実習	○	○	○	○	a:被服の構成や製作について関心を持ち、意欲的に実習に取り組もうとしている。 b:被服の製作について効率的に製作する工夫をし、オリジナリティを表現している c:被服の製作について、基本的な技能を身につけ、正確でいい技術を身につけている d:被服の構成や製作について理解し、基本的な被服製作の知識や仕組を身につけている	授業観察 実習計画 実習レポート 自己評価 実技テスト 製作物 定期考査

11月 12月	健康で快適な衣生活をつくろう	<p>○衣生活をみつめよう *なぜ被服を着るのか ・被服の機能</p> <p>○着心地のよい被服 ・被服の材料</p> <p>○衣生活の計画と管理 ・被服の管理 *界面活性剤の働き</p>	○	○	○	○	<p>a:被服管理と着装、健康で快適な衣生活、ライフスタイルと環境に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。</p> <p>b:被服管理と着装、健康で快適な衣生活などについて、課題を見だし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。</p> <p>c:生涯を通して健康で快適な衣生活を営むために必要な被服計画、被服整理などの技術を身に付けている。</p> <p>d:被服の機能と着装、被服材料、被服の構成、被服管理などについて科学的に理解し、健康で快適な衣生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。</p>	授業観察 ワークシート レポート 定期考査
		2 学期末考査		○	○	○		
1月	経済生活を設計しよう	<p>○現代の消費生活 ・変化する消費生活 ・キャッシュレス社会のメリット・デメリット ・クレジットカードについて</p>	○	○	○	○	<p>a:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。</p> <p>b:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について、考え、工夫している。</p> <p>c:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計を立案するための技術を身に付けている。</p> <p>d:現在及び将来の消費生活と経済の計画・管理、生活設計のために必要な知識を身に付けている。</p>	授業観察 ワークシート 定期考査

2月 ・ 3月	経済生活を設計しよう	○消費者問題の現状と課題 ・契約とは何か ・多様化する消費者問題 *シミュレーションで問題解決を考える ○消費者の権利と責任 ・消費者の権利と社会を変える力 ・よりよい生活をめざす意思決定と消費行動 ○家庭の経済生活 ・家計の現状と経済のしくみとのかわり ・ライフステージと経済計画 *マネープランのシミュレーションゲーム 学年末考査	○	○	○	○	a:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について、考え、工夫している。 c:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計を立案するための技術を身に付けている。 d:現在及び将来の消費生活と経済の計画・管理、生活設計のために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート レポート 発表 自己評価 相互評価 定期考査
---------------	------------	--	---	---	---	---	--	--

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度      b:思考・判断・表現  
c:技能      d:知識・理解

※ \*は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。